

学校評価書（令和４年度）

学校法人 浜松平和学園 旭ヶ丘幼稚園長 林 利幸
 学校法人 浜松平和学園 旭ヶ丘幼稚園 学校関係者評価委員長 伊藤 清子

1. 幼稚園教育目標 「明るく たくましく やる気のある子」					
2. 本年度の重点課題(学校評価の具体的な目標や計画) ○ 生活に必要な、健康・安全の習慣を身につける ○ 諸活動を通して人間関係を深め社会性を養う ○ 教職員の資質向上の1UPを図る					
3. 自己評価結果とそれに対する学校関係者評価結果 ※評価点は、4(十分に成果があった)3(成果があった)、2(少しの成果があった)、1(成果がなかった)の数値を表す。					
評価項目	園としての取り組み(観点)	自己評価点	幼稚園としての反省と改善策	学校関係者評価委員会評価点	学校関係者評価委員会の意見
① 保育の計画性	・園児の実態に合った教育課程や行事が組まれているか ・指導計画の評価を定期的に行い指導に生かされたか	4	・コロナ禍にあっても安心・安全な環境を整え、子供たちが主体的に活動や行事に参加できるよう計画を組んで実施することができた。 ・一部行事を予定と変更したことを説明せず実施したために迷惑をかけることがあった。 ・定期的に話し合いの場を設け、各学年で保育の方向性を共有し、発達段階に合わせた保育計画の改善を図っていく。	4	・夏まつりはどの学年も演出がよく、当日に向けて子供たちの気持ちも高まっていた。来年は戸外で行いたい。 ・運動会は学年ごとの開催で暑い中でも短時間で行うことができた。音楽会は、各学年の成長過程を見ることができた。また、どちらも指定席でゆとりをもって観覧することができた。
② 保育のあり方、幼児への対応	・個の発達にあわせた保育に心掛けたか ・基本的な生活習慣をおろそかにしない保育であったか ・子供同士の心の通い合いを大切にできたか	3	・個々のかかわりを大切にし、子供の特性を理解した上で一人ひとりに合った対応に努めた。 ・基本的な生活習慣が身につくよう、ある程度の指導ができたが、学級によって差が見られた。 ・基本的な生活習慣を身に付けると同時にコミュニケーション能力や思いやりの気持ちを持てるよう指導していきたい。またSDGsへの取り組みを、保育の中で行っていけるよう園全体で力を入れていきたい。	4	・園舎の水回りがとても清潔にしてあり、子供が綺麗に使おうと意識することができるのでありがたい。 ・クレヨンやカラー帽子等毎年配布されるが、SDGsへの取り組みの一つとして再考するとよい。保育の視点としSDGsというとても良い取り組みであり、一つの物を大切に使い、使い切る気持ちを体験させたい。なくなったら、補充するようになれば保護者も使用量が把握できる。
③ 教師としての資質、能力、適性	・保育内容の事前準備や事後処理が適切であったか ・環境整備に気を配り適切に対処できたか ・係の一員として自分の力を発揮したか	3	・子供にとって安心して信頼できる存在となることを常に意識した言動で関わる事ができた。 ・外部機関の研修に積極的に参加することができた。 ・教師自身が時代や地域、保護者の思いを汲み取り、積極的に新しい事に挑戦する気持ちをもって資質向上に努めたい。	4	・音楽会の衣装はとても素敵だが、制作時、職員の負担が大きく心配である。他園のように保護者に協力してもらおう等したらどうか。 ・子どもも保護者も、先生方が手厚い指導をしてくれるため、とても信頼している。
④ 保護者への対応	・園と家庭間の連絡に滞りがなかったか ・子供の社会性や成長を保護者と共有しながら保育できたか	4	・連絡ノートや電話連絡、面談を通して、子供の成長過程を共通理解し、保護者との信頼関係を築くよう努めた。 ・マスク生活が続いているが、どんな時でも笑顔と明るい先駆け挨拶に取り組むことができた。 ・園での痛ましい事故を起こさないよう、出欠連絡をはじめ、家庭との連絡を今まで以上に密にすることが不可欠である。	4	・職員が保護者としっかり目を合わせ、子供の名前を呼んで挨拶をしてくれる。子どもの良い見本となっている。 ・怪我、病気など園での様子を丁寧に報告してくれて、とても信頼できる。 ・卒園児やサイズが小さくなって着ることができない園服等、提供できる場があればありがたい。
⑤ 地域の自然や社会との関わり	・地域の自然や施設を活用できたか ・地域への開放や子育てへの支援ができたか	3	・小中高生との触れ合い体験や、園外での新規の自然体験を実施することができた。 ・園開放では、楽しい活動内容を考え、子育てに役立つ情報を伝えると共に、沢山の方が参加できるように土曜日に開催した。また、全職員が園開放にかかわることで、園児募集等の現状を知ることができた。 ・引き続き、地域にとって通わせたい園になるよう工夫をしていく。	3.7	・園外保育が充実され、園開放も休日に開催する等、保護者の事を考えて、努力している。 ・小中高生との交流では、子供が自分の将来への道を知る良い機会となっている。 ・浜工生が制作した手指消毒スタンド等、保護者にも知らせる場を設けてほしい。また、地域との連携を新聞社に伝えることで、園のプラスになる。
⑥ 研修と研究	・各種研修会に参加し研修で得たものを保育等の実践に生かすことができたか ・園内研修に自分の考えを反映することができたか	3	・オンライン研修が増え、今まで以上に研修に参加することができた。また、園において伝達講習を行い、研修内容を共有する機会を作った。 ・園内で研修報告をし、全職員が知識や技術を共有していくことができた。今後は保育を見直すと共に実践し、資質向上に結び付けていきたい。	4	・受講した研修を、園内で広げていることはいいことである。 ・先生方自身が「自己評価」を高く持ってほしい。頑張っている気持ちをもっと持ち、胸を張ってもらいたい。
⑦ 外部アンケート	・昨年度のアンケート結果を把握し日常の活動に生かされたか	4	・昨年度の反省と保護者からの貴重な意見を真摯に受け止め、改善すべき点は迅速に対応していくよう努めた。 ・大きな行事については、必ず+αを加えて実施することに努めた。 ・今後も、保護者からの問い合わせ、要望には、親切丁寧な対応を心がけ信頼関係を築き上げていく。	4	・アンケート結果から夏まつりの玩具について記載されているが、高校3年生になっても、当時の思い出を覚えている。子供が楽しめ、良い思い出に残ることは是非、続けてほしい。 ・昨年度に続き評価が上がっているのは、先生方の取り組みが保護者に伝わっているからであると思われる。